

平成 28 年度  
厚生労働科学研究費・日本医療研究開発機構委託費  
「第 1 回合同班会議」

厚生労働科学研究 難治性疾患等政策研究事業  
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」  
平成 28 年度第 1 回総会プログラム

期日 平成 28 年 7 月 21 日 (木) 9:00 ~ 17:10

7 月 22 日 (金) 9:00 ~ 10:20

場所 東京医科歯科大学 M&D タワー2F 鈴木章夫記念講堂  
(東京都文京区湯島 1-5-45)

研究代表者 鈴木 康夫

(東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座)

---

---

事務局 東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座  
担当 竹内 健・高田 伸夫  
TEL: 043-462-8811 (代) TEL/ FAX: 043-462-7370  
E-mail: ibd.gast@sakura.med.toho-u.ac.jp

---

---

# 第1回総会について

## 1) 演題発表について

### 1. 【発表データの作成】

スライドは、Power Point で作成し、USB フラッシュメモリー、または CD-R に保存したものをお持ち込み下さい。(Windows, Macintosh どちらも対応可能ですが、ご自身の PC 以外の機器でも試写してからお持ち込み下さい。) ご自身のパソコンで発表される場合は、PC 本体持ち込みで、ご準備いただけますようお願いいたします。特に動画、音声がある場合は、PC お持ち込みを推奨いたします。

### 2. 【口演発表・討論時間】

プロジェクト責任者の先生は、総括を各プロジェクト冒頭で発表をお願い致します。**総括は5分プロジェクト計画・研究成果の発表は4分、討論3分、時間厳守**をお願い致します。

口演の進行は卓上のランプでお知らせいたします。発表時間の終了1分前に「黄色ランプ」が点灯し、発表時間の終了時に「赤ランプ」が点灯いたします。

### 3. 【発表データ受付】

発表30分前までに M&D タワー2階の会場「発表データ受付」までご提出下さい。

その際、試写(出力確認)も必ず行ってください。使用したメディアは、画面確認後その場でご返却いたします。

2日目以降のデータは、前日でも受付することが出来ます。

### 4. 【発表データについて】

厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。不都合のある先生におかれましては、事前に事務局まで御連絡をお願いします。

### 5. 【配布資料について】

資料を配布される場合には、下記部数を**7月19日(火)必着**で

**送付先: 東京医科歯科大学 消化器内科医局御中 「鈴木班」(〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45)**までお送りいただくか、当日8時15分までに2階の総合受付までお持ち下さい。

配布部数 両日配布: 300部

1日目のみ配布: 250部

2日目のみ配布: 100部

**当日、お持ちいただく場合、会場でのコピーは困難ですので、必ず配布出来る状態の資料をご準備してお持ち下さい。**

### 6. 【研究成果の公表について】

研究成果の公表の際には本調査研究班の助成を受けていることを必ず明記して下さい。

英文標記例

This work was supported in part by Health and Labour Sciences Research Grants for research on intractable diseases from the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan.

## 2) 会場へのご入場について

(1) **M&D タワー2階**ロビーの総会受付にて芳名録へご署名後、会場へお進みください。

3班合同で行いますので、開催期間のうち一度ご記帳頂ければ、班ごとの記帳は不要です。

(2) **発表会場内では飲食不可となっております、休憩スペースをご利用ください。**

## 3) 駐車場について

駐車スペースはご用意しておりませんので、公共の交通機関をご利用ください。

## 4) 会場案内図

東京医科歯科大学 M & D タワー 2階 鈴木章夫記念講堂

【電車】 ● JR 御茶ノ水駅下車 徒歩3分

● 地下鉄 丸の内線 御茶ノ水駅下車 徒歩1分

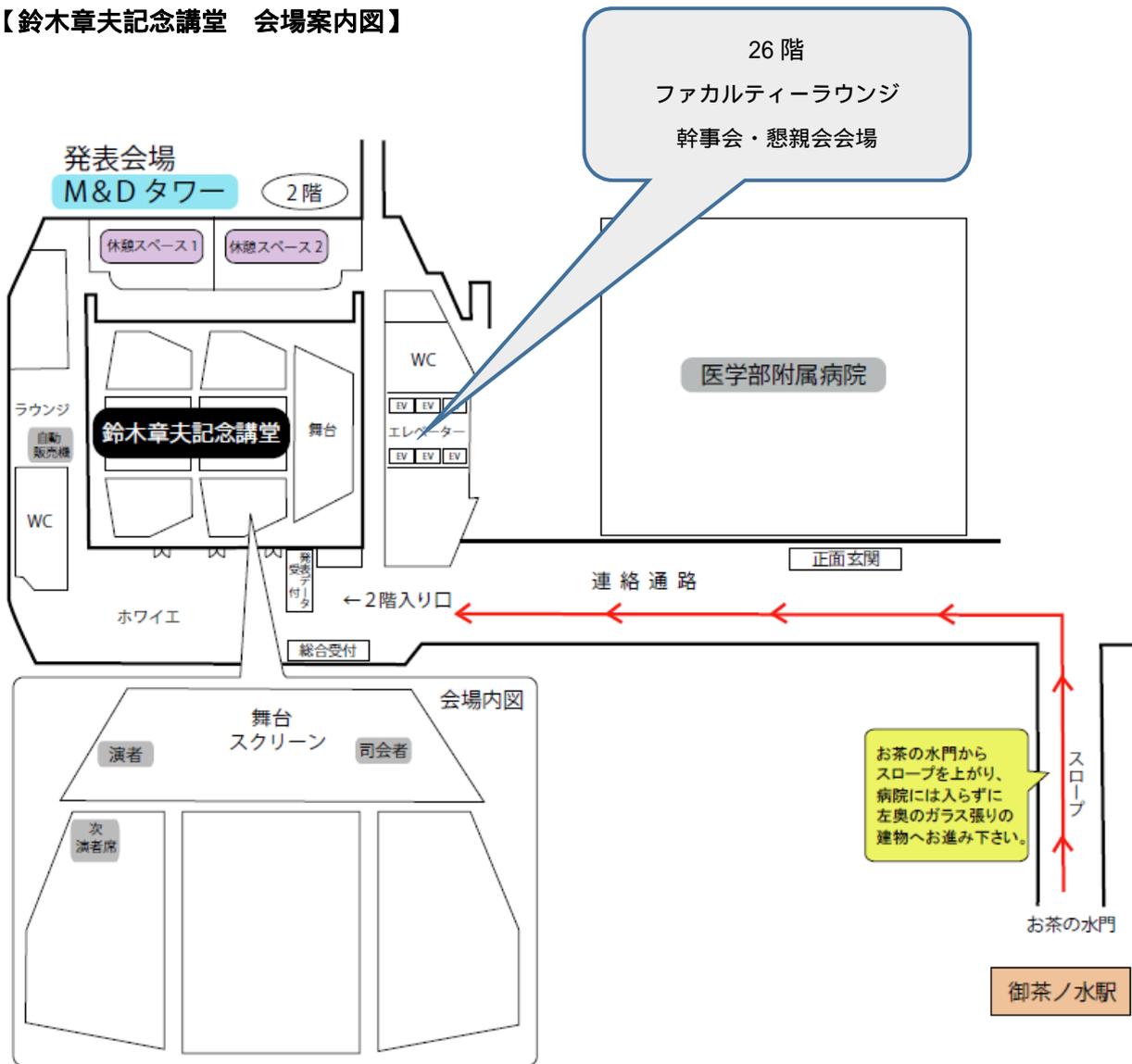
● 地下鉄 千代田線 新御茶ノ水駅下車 徒歩5分

【バス】 ● 東43系統 都バス東京駅北口 - 荒川土手間 御茶ノ水駅前下車

● 茶51系統 都バス駒込駅南口 - 御茶ノ水駅間 御茶ノ水駅前下車



5)【鈴木章夫記念講堂 会場案内図】



# 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業

## 「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班

### 平成 28 年度第 1 回総会プログラム

(敬称略)

平成 28 年 7 月 21 日 (木)

開会 (9:00)

- ・ 厚生労働省健康局難病対策課 挨拶  
厚生労働省健康局難病対策課
- ・ 研究代表者挨拶・研究の進め方  
研究代表者 鈴木 康夫
- ・ 研究報告

#### 1. 疫学・研究成果公表プロジェクト (9:10~9:35)

総括 西脇祐司 東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学分野

##### 潰瘍性大腸炎およびクローン病の有病者数推計に関する全国調査結果

村上義孝<sup>1</sup>、桑原絵里加<sup>2</sup>、大庭真梨<sup>1</sup>、朝倉敬子<sup>2</sup>、大藤さとこ<sup>3</sup>、福島若葉<sup>3</sup>、竹内 健<sup>4</sup>、鈴木康夫<sup>4</sup>、西脇祐司<sup>2</sup>(東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野<sup>1</sup>、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野<sup>2</sup>、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学<sup>3</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院消化器センター<sup>4</sup>)

##### 潰瘍性大腸炎およびクローン病に関する二次調査の計画案

村上義孝<sup>1</sup>、大庭真梨<sup>1</sup>、桑原絵里加<sup>2</sup>、朝倉敬子<sup>2</sup>、竹内 健<sup>3</sup>、長堀正和<sup>4</sup>、久松理一<sup>5</sup>、大藤さとこ<sup>6</sup>、福島若葉<sup>6</sup>、鈴木康夫<sup>3</sup>、西脇祐司<sup>2</sup>(東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野<sup>1</sup>、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野<sup>2</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院消化器センター<sup>3</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>4</sup>、杏林大学医学部第三内科学<sup>5</sup>、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学<sup>6</sup>)

##### 炎症性腸疾患に対するリスク因子：食習慣に着目して

大藤さとこ<sup>1</sup>、松永一朗<sup>1</sup>、近藤亨子<sup>1</sup>、福島若葉<sup>1</sup>、山上博一<sup>2</sup>、渡辺憲治<sup>3</sup>、長堀正和<sup>4</sup>、渡辺 守<sup>4</sup>、西脇祐司<sup>5</sup>、鈴木康夫<sup>6</sup>(大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学<sup>1</sup>、大阪市立大学大学院医学研究科・消化器内科学<sup>2</sup>、大阪市立総合医療センター・消化器内科<sup>3</sup>、東京医科歯科大学・消化器病態学<sup>4</sup>、東邦大学医学部・社会医学/衛生学<sup>5</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院・消化器内科<sup>6</sup>、For the Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis & Crohn's disease.)

#### 2. 広報活動/専門医育成プロジェクト (9:35~10:15)

総括 松岡克善 東京医科歯科大学医学部附属病院 消化器内科

##### 「国民・患者・一般臨床医に対する啓発・広報活動」の報告と提案

松岡克善<sup>1</sup>、長堀正和<sup>1</sup>、藤谷幹浩<sup>2</sup>、穂刈量太<sup>3</sup>、中村志郎<sup>4</sup>、金井隆典<sup>5</sup>、藤井久男<sup>6</sup>、竹内 健<sup>7</sup>、鈴木康夫<sup>7</sup>(東京医科歯科大学消化器内科<sup>1</sup>、旭川医科大学消化器血液腫瘍制御内科学分野<sup>2</sup>、防衛医科大学校内科<sup>3</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座<sup>4</sup>、慶應義塾大学消化器内科<sup>5</sup>、奈良県立医科大学付属病院<sup>6</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院<sup>7</sup>)

##### IBD を専門とする消化器医育成プログラムの開発-IBD 病診連携ネットワークによるコホート研究の進捗状況と今後の展望

鈴木康夫<sup>1</sup>、竹内 健<sup>1</sup>、渡辺 守<sup>2</sup>、長堀正和<sup>2</sup>、高後 裕<sup>3</sup>、蘆田知史<sup>4</sup>、○藤谷幹浩<sup>5</sup>、野村好紀<sup>5</sup>、稲場勇平<sup>6</sup>、中村志郎<sup>7</sup>、福島浩平<sup>8</sup>、松井敏幸<sup>9</sup>、安藤 朗<sup>10</sup>、穂刈量太<sup>11</sup>、金井隆典<sup>12</sup>、藤井久男<sup>13</sup>(東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座<sup>1</sup>、東京医科歯科大学 消化器病態学<sup>2</sup>、国際医療福祉大学病院消化器内科<sup>3</sup>、札幌徳州会病院 IBD センター<sup>4</sup>、旭川医科大学内科学講座 消化器血液腫瘍制御内科学分野<sup>5</sup>、市立旭川病院消化器病センター<sup>6</sup>、兵庫医科大学内科学下部消化管科<sup>7</sup>、東北大学大学院消化管再建医工学分野 分子病態外科学分野<sup>8</sup>、

福岡大学筑紫病院 消化器内科<sup>9</sup>、滋賀医科大学消化器内科<sup>10</sup>、防衛医科大学校内科<sup>11</sup>、慶應義塾大学消化器内科<sup>12</sup>、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBDセンター<sup>13</sup>)

### 「外科手術患者向け冊子」の提案

長堀正和<sup>1</sup>、畑 啓介<sup>2</sup>、内野 基<sup>3</sup>、東大二郎<sup>4</sup>、水島恒和<sup>5</sup>、木村英明<sup>6</sup>、高橋賢一<sup>7</sup>、小金井一隆<sup>8</sup>、杉田 昭<sup>9</sup>、鈴木康夫<sup>10</sup> (東京医科歯科大学消化器内科<sup>1</sup>、東京大学腫瘍外科<sup>2</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門<sup>3</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>4</sup>、大阪大学消化器外科<sup>5</sup>、横浜市立大学附属市民総合医療センターIBDセンター<sup>6</sup>、東北労災病院大腸肛門病センター<sup>7</sup>、横浜市立市民病院炎症性腸疾患科<sup>8</sup>、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>9</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院<sup>10</sup>)

### 「IBD 専門医」を目指す医師のための「e-learning」の提案

長堀正和<sup>1</sup>、松岡克善<sup>1</sup>、藤谷幹浩<sup>2</sup>、穂苅量太<sup>3</sup>、中村志郎<sup>4</sup>、金井隆典<sup>5</sup>、藤井久男<sup>6</sup>、竹内 健<sup>7</sup>、鈴木康夫<sup>7</sup> (東京医科歯科大学消化器内科<sup>1</sup>、旭川医科大学消化器血液腫瘍制御内科学分野<sup>2</sup>、防衛医科大学校内科<sup>3</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座<sup>4</sup>、慶應義塾大学消化器内科<sup>5</sup>、奈良県立医科大学附属病院<sup>6</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院<sup>7</sup>)

### 「クローン病 (CD) 手帳、厚労省版作成の作業状況報告」

○飯塚文瑛<sup>1</sup>、鈴木康夫<sup>2</sup>、国崎玲子<sup>3</sup>、長堀正和<sup>4</sup>、長沼 誠<sup>5</sup>、樋田信幸<sup>6</sup>、新井勝大<sup>7</sup>、鎌田紀子<sup>8</sup>、大森鉄平先生<sup>9</sup> (東京女子医科大学 消化器内科 炎症性腸疾患センター<sup>1</sup>、東邦大学佐倉医療センター<sup>2</sup>、横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター<sup>3</sup>、東京医科歯科大学 消化器病態学<sup>4</sup>、慶應義塾大学病院内視鏡センター<sup>5</sup>、兵庫医科大学内科学下部消化管科<sup>6</sup>、国立成育医療研究センター 器官病態系内科部 消化器内科<sup>7</sup>、大阪市立大学医学部附属病院 消化器内科<sup>8</sup>、東京女子医科大学 消化器内科<sup>9</sup>)

## 3. ガイドラインの改訂 (10:15~10:40)

### 総括 上野文昭 大船中央病院消化器・IBDセンター

#### 炎症性腸疾患診療ガイドライン改訂版最終案について

○上野文昭<sup>1</sup>、渡邊聡明<sup>2</sup>、井上 詠<sup>3</sup>、小俣富美雄<sup>4</sup>、加藤 順<sup>5</sup>、国崎玲子<sup>6</sup>、小金井一隆<sup>7</sup>、小林清典<sup>8</sup>、小林健二<sup>9</sup>、猿田雅之<sup>10</sup>、仲瀬裕志<sup>11</sup>、長堀正和<sup>12</sup>、平井郁仁<sup>13</sup>、本谷 聡<sup>14</sup>、松井敏幸<sup>13</sup>、渡辺 守<sup>12</sup>、金井隆典<sup>15</sup>、高橋賢一<sup>16</sup>、野口善令<sup>17</sup>、渡辺憲治<sup>18</sup> (大船中央病院消化器 IBDセンター<sup>1</sup>、東京大外科<sup>2</sup>、慶應義塾大予防医療センター<sup>3</sup>、聖路加国際病院<sup>4</sup>、和歌山医大第2内科<sup>5</sup>、横浜市大市民総合医療センターIBDセンター<sup>6</sup>、横浜市立市民病院外科<sup>7</sup>、北里大新世紀医療開発センター<sup>8</sup>、亀田京橋クリニック<sup>9</sup>、慈恵医大消化器内科<sup>10</sup>、札幌医大消化器内科<sup>11</sup>、東京医歯大消化器内科<sup>12</sup>、福岡大筑紫病院消化器内科<sup>13</sup>、札幌厚生病院 IBDセンター<sup>14</sup>、慶應義塾大消化器内科<sup>15</sup>、東北労災病院大腸肛門外科<sup>16</sup>、名古屋第二日赤病院救急・総合内科<sup>17</sup>、大阪市立総合医療センター消化器内科<sup>18</sup>)

#### 腸管型パーチェット診療ガイドライン作成プロジェクト (鈴木班・水木班合同プロジェクト)

久松理一<sup>1</sup>、井上 詠<sup>2</sup>、渡辺憲治<sup>3</sup>、谷田諭史<sup>4</sup>、国崎玲子<sup>5</sup>、小林清典<sup>6</sup>、長堀正和<sup>7</sup>、新井勝大<sup>8</sup>、内野 基<sup>9</sup>、小金井一隆<sup>10</sup>、岳野光洋<sup>11</sup>、上野文昭<sup>12</sup>、松本主之<sup>13</sup>、鈴木康夫<sup>14</sup> (杏林大学医学部第三内科学<sup>1</sup>、慶應義塾大学医学部予防医療センター<sup>2</sup>、大阪市立総合医療センター消化器内科<sup>3</sup>、名古屋市立大学医学部消化器内科<sup>4</sup>、横浜市立大学附属市民総合医療センターIBDセンター<sup>5</sup>、北里大学医学部新世紀医療開発センター<sup>6</sup>、東京医科歯科大学医学部消化器内科<sup>7</sup>、国立成育医療センター 器官病態系内科部消化器科<sup>8</sup>、兵庫医科大学病院炎症性腸疾患外科<sup>9</sup>、横浜市民病院 炎症性腸疾患科<sup>10</sup>、日本医科大学リウマチ膠原病科<sup>11</sup>、大船中央病院<sup>12</sup>、岩手医科大学消化管内科学<sup>13</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科<sup>14</sup>)

#### 本邦における腸管パーチェット病に対する外科治療の現況調査 (多施設共同研究)

杉田 昭<sup>1</sup>、小金井一隆<sup>1</sup>、内野 基<sup>2</sup>、二見喜太郎<sup>3</sup>、根津理一郎<sup>4</sup>、藤井久男<sup>5</sup>、舟山裕士<sup>6</sup>、渡邊聡明<sup>7</sup>、福島浩平<sup>8</sup>、板橋道朗<sup>9</sup>、篠崎 大<sup>10</sup>、池内浩基<sup>11</sup>、荒木俊光<sup>12</sup>、高橋賢一<sup>13</sup>、水島恒和<sup>14</sup>、畑 啓介<sup>15</sup>、植田 剛<sup>16</sup>、亀山仁史<sup>17</sup>、久松理一<sup>18</sup> (横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>1</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座<sup>2</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>3</sup>、西宮市立中央病院外科<sup>4</sup>、吉田病院消化器内視鏡・IBDセンター<sup>5</sup>、仙台赤十字病院外科<sup>6</sup>、東京大学大腸肛門外科<sup>7</sup>、東北大学分子病態外科<sup>8</sup>、東京女子医大第2外科<sup>9</sup>、東京大学医科学研究所附属病院外科<sup>10</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座<sup>11</sup>、三重大学消化管・小児外科学<sup>12</sup>、東北労災病院大腸肛門病センター<sup>13</sup>、大阪大学消化器外科<sup>14</sup>、東京大学腫瘍外科<sup>15</sup>、奈良県立医大消化器・総合外科<sup>16</sup>、新潟大学消化器・一般外科<sup>17</sup>、帝京大学第三内科<sup>18</sup>)

#### 4. 標準化を目指した治療指針の改訂 (10:40~11:15)

総括 中村志郎 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科部門

##### 治療の標準化を目指した潰瘍性大腸炎治療指針の改訂

中村志郎<sup>1</sup>、松井敏幸<sup>2</sup>、杉田 昭<sup>3</sup>、余田 篤<sup>4</sup>、安藤 朗<sup>5</sup>、金井隆典<sup>6</sup>、長堀正和<sup>7</sup>、樋田信幸<sup>1</sup>、穂苅量太<sup>8</sup>、渡辺憲治<sup>9</sup>、仲瀬裕志<sup>10</sup>、竹内 健<sup>11</sup>、上野義隆<sup>12</sup>、福島浩平<sup>13</sup>、二見喜太郎<sup>14</sup>、鈴木康夫<sup>11</sup> (兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門<sup>1</sup>、福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>2</sup>、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>3</sup>、大阪医科大学小児科<sup>4</sup>、滋賀医科大学消化器内科<sup>5</sup>、慶應義塾大学消化器内科<sup>6</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>7</sup>、防衛医科大学校消化器内科<sup>8</sup>、大阪市立総合医療センター消化器内科<sup>9</sup>、札幌医科大学医学部消化器内科学講座<sup>10</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科<sup>11</sup>、広島大学病院内視鏡診療科<sup>12</sup>、東北大学大学院分子病態外科・消化管再建医工学<sup>13</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>14</sup>)

##### 治療の標準化を目指したクローン病治療指針の改訂

中村志郎<sup>1</sup>、松井敏幸<sup>2</sup>、杉田 昭<sup>3</sup>、余田 篤<sup>4</sup>、安藤 朗<sup>5</sup>、金井隆典<sup>6</sup>、長堀正和<sup>7</sup>、樋田信幸<sup>1</sup>、穂苅量太<sup>8</sup>、渡辺憲治<sup>9</sup>、仲瀬裕志<sup>10</sup>、竹内 健<sup>11</sup>、上野義隆<sup>12</sup>、福島浩平<sup>13</sup>、二見喜太郎<sup>14</sup>、鈴木康夫<sup>11</sup> (兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門<sup>1</sup>、福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>2</sup>、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>3</sup>、大阪医科大学小児科<sup>4</sup>、滋賀医科大学・消化器内科<sup>5</sup>、慶應義塾大学消化器内科<sup>6</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>7</sup>、防衛医科大学校消化器内科<sup>8</sup>、大阪市立総合医療センター消化器内科<sup>9</sup>、札幌医科大学医学部消化器内科学講座<sup>10</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科<sup>11</sup>、広島大学病院内視鏡診療科<sup>12</sup>、東北大学大学院分子病態外科・消化管再建医工学<sup>13</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>14</sup>)

##### 潰瘍性大腸炎、クローン病外科治療指針の改訂

杉田昭<sup>1</sup>、二見喜太郎<sup>2</sup>、根津理一郎<sup>3</sup>、藤井久男<sup>4</sup>、楠 正人<sup>5</sup>、舟山裕士<sup>6</sup>、渡邊聡明<sup>7</sup>、福島浩平<sup>8</sup>、板橋道朗<sup>9</sup>、池内浩基<sup>10</sup>、小金井一隆<sup>1</sup>、亀山仁史<sup>11</sup>、亀岡信悟<sup>12</sup>、佐々木 巖<sup>13</sup>、中村志郎<sup>14</sup>、松井敏幸<sup>15</sup> (横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>1</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>2</sup>、西宮市立中央病院外科<sup>3</sup>、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター<sup>4</sup>、三重大学消化管 小児外科学<sup>5</sup>、仙台赤十字病院外科<sup>6</sup>、東京大学大腸肛門外科<sup>7</sup>、東北大学分子病態外科<sup>8</sup>、東京女子医大第2外科<sup>9</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座<sup>10</sup>、新潟大学消化器 一般外科<sup>11</sup>、牛久愛和総合病院<sup>12</sup>、みやぎ健診プラザ<sup>13</sup>、兵庫医科大学内科学下部消化管科<sup>14</sup>、福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>15</sup>)

##### 「クローン病肛門病変に対する治療指針」の改訂

二見喜太郎<sup>1</sup>、東 大二郎<sup>1</sup>、平野由紀子<sup>1</sup>、杉田 昭<sup>2</sup>・小金井一隆<sup>2</sup>、福島浩平<sup>3</sup>、舟山裕士<sup>4</sup>、池内浩基<sup>5</sup>、藤井久男<sup>6</sup>、亀岡信吾<sup>7</sup>、板橋道朗<sup>7</sup>、渡邊聡明<sup>8</sup>、楠 正人<sup>9</sup>、荒木俊光<sup>9</sup>、根津理一郎<sup>10</sup>、高橋賢一<sup>11</sup>、水島恒和<sup>12</sup>、木村英明<sup>13</sup>、亀山仁史<sup>14</sup> (福岡大学筑紫病院 外科<sup>1</sup>、横浜市立市民病院 炎症性腸疾患センター<sup>2</sup>、東北大学病院 外科学<sup>3</sup>、仙台赤十字病院 外科<sup>4</sup>、兵庫医大 IBD センター<sup>5</sup>、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター<sup>6</sup>、東京女子医大 第2外科<sup>7</sup>、東京大学 腫瘍外科・血管外科<sup>8</sup>、三重大学 消化管・小児外科<sup>9</sup>、西宮市立中央病院<sup>10</sup>、東北労災病院 大腸肛門外科<sup>11</sup>、大阪大学 消化器外科<sup>12</sup>、横浜市立大学市民総合医療センター IBD センター<sup>13</sup>、新潟大学 消化器外科<sup>14</sup>)

#### 5. 増悪・再燃因子の解析と対策プロジェクト (11:15~11:35)

総括 岡崎和一 関西医科大学内科学第三講座 (消化器肝臓内科)

##### 潰瘍性大腸炎における急性増悪・再燃因子の前向き調査 (特に腸管感染症との関連性)

岡崎和一<sup>1</sup>、大宮美香<sup>1</sup>、深田憲将<sup>1</sup>、佐々木誠人<sup>2</sup>、大川清孝<sup>3</sup>、北村和哉<sup>4</sup>、渡辺 守<sup>5</sup>、長堀正和<sup>5</sup>、谷田論史<sup>6</sup>、花井洋行<sup>7</sup>、飯田貴之<sup>7</sup>、加藤 順<sup>8</sup> (関西医科大学内科学第三講座<sup>1</sup>、愛知医科大学消化器内科<sup>2</sup>、大阪市立十三市民病院<sup>3</sup>、金沢大学消化器内科<sup>4</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>5</sup>、名古屋市立大学消化器・代謝内科<sup>6</sup>、浜松南病院 IBD センター<sup>7</sup>、和歌山県立医科大学第二内科<sup>8</sup>)

##### 炎症性腸管疾患合併症とリスク因子の解析

岡崎和一<sup>1</sup>、深田憲将<sup>1</sup>、大宮美香<sup>1</sup>、福井寿朗<sup>1</sup>、松下光伸<sup>1</sup>、鈴木康夫<sup>2</sup> (関西医科大学内科学第三講座<sup>1</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院内科<sup>3</sup>)

昼食・幹事会 12:00~13:00

( 13 : 00 )

国立保健医療科学院挨拶

国立保健医療科学院 研究事業推進官 健康危機管理研究部 上席主任研究官

厚生労働省大臣官房厚生科学課 ( 併任 )

武村 真治先生

## 6. 的確な診断・治療の確立プロジェクト 治療面から ( 13 : 10 ~ 14 : 10 )

総括 松本主之 岩手医科大学医学部 内科学講座消化器内科消化管分野

a ) 司会 松本主之 岩手医科大学医学部 内科学講座消化器内科消化管分野 ( 13 : 10 ~ 13 : 35 )

### 多施設共同臨床試験「難治性潰瘍性大腸炎に対するタクロリムスとインフリキシマブの治療効果比較試験」

松岡克善<sup>1</sup>、長沼 誠<sup>2</sup>、金井隆典<sup>2</sup>、日比紀文<sup>3</sup>、渡辺 守<sup>1</sup>、樋田信幸<sup>4</sup>、松浦 稔<sup>5</sup>、猿田雅之<sup>6</sup>、朝倉敬子<sup>7</sup>、鈴木康夫<sup>8</sup> ( 東京医科歯科大学消化器内科<sup>1</sup>、慶応義塾大学消化器内科<sup>2</sup>、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター<sup>3</sup>、兵庫医科大学内科下部消化管科<sup>4</sup>、京都大学医学部消化器内科<sup>5</sup>、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科<sup>6</sup>、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野<sup>7</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科<sup>8</sup> )

### クローン病の小腸狭窄に対する内視鏡的拡張療法 - 多施設前向試験の論文準備状況と長期経過の検討に関して -

平井郁仁<sup>1</sup>、松本主之<sup>2</sup>、松井敏幸<sup>3</sup> ( 福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター<sup>1</sup>、岩手医科大学消化器内科消化管分野<sup>2</sup>、福岡大学筑紫病院 臨床医学研究センター ( 消化器内科 )<sup>3</sup> )

### 特殊型炎症性腸疾患におけるアダリムマブとステロイドの前向き無作為化比較試験 Castle Study : 国内多施設共同試験

渡辺憲治<sup>1</sup>、松本主之<sup>2</sup>、仲瀬裕志<sup>3</sup>、久松理一<sup>4</sup>、平井郁仁<sup>5</sup>、小林清典<sup>6</sup>、国崎玲子<sup>7</sup>、長堀正和<sup>8</sup>、竹内 健<sup>9</sup>、大藤さとこ<sup>10</sup>、福島若葉<sup>10</sup>、梁井俊一<sup>2</sup>、稲場勇平<sup>11</sup>、藤谷幹浩<sup>11</sup>、櫻庭裕丈<sup>12</sup>、遠藤克哉<sup>13</sup>、勝野達郎<sup>14</sup>、大森鉄平<sup>15</sup>、飯塚文瑛<sup>15</sup>、小林 拓<sup>16</sup>、秋山純一<sup>17</sup>、本田 穰<sup>18</sup>、佐藤 公<sup>19</sup>、佐々木誠人<sup>20</sup>、谷田諭史<sup>21</sup>、加賀谷尚史<sup>22</sup>、馬場重樹<sup>23</sup>、安藤 朗<sup>23</sup>、内藤裕二<sup>24</sup>、深田憲将<sup>25</sup>、岡崎和一<sup>25</sup>、細見周平<sup>26</sup>、湯川知洋<sup>26</sup>、鎌田紀子<sup>26</sup>、山上博一<sup>26</sup>、宮寄孝子<sup>27</sup>、中村志郎<sup>27</sup>、松浦 稔<sup>28</sup>、亀田昌司<sup>29</sup>、石田哲也<sup>30</sup>、松本吏弘<sup>31</sup>、金城福則<sup>32</sup>、金城 徹<sup>33</sup>、上野義隆<sup>34</sup>、田中信治<sup>34</sup>、渡辺知佳子<sup>35</sup>、穂苅量太<sup>35</sup>、高橋索真<sup>36</sup>、進士明宏<sup>37</sup>、北村和哉<sup>38</sup>、辻川知之<sup>39</sup>、山下真幸<sup>40</sup>、長沼 誠<sup>41</sup>、鈴木康夫<sup>9</sup>、上野文昭<sup>42</sup>、日比紀文<sup>16</sup>、渡辺 守<sup>8</sup> ( 大阪市立総合医療センター消化器内科<sup>1</sup>、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野<sup>2</sup>、札幌医科大学消化器内科<sup>3</sup>、杏林大学医学部第三内科学<sup>4</sup>、福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>5</sup>、北里大学東病院消化器内科<sup>6</sup>、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患センター<sup>7</sup>、東京医科歯科大学消化器病態学<sup>8</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科<sup>9</sup>、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学<sup>10</sup>、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野<sup>11</sup>、弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座<sup>12</sup>、東北大学消化器内科<sup>13</sup>、千葉大学消化器内科<sup>14</sup>、東京女子医科大学消化器病センター<sup>15</sup>、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター<sup>16</sup>、国立国際医療研究センター消化器内科<sup>17</sup>、新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野<sup>18</sup>、山梨大学医学部第1内科<sup>19</sup>、愛知医科大学消化器内科<sup>20</sup>、名古屋市立大学消化器内科<sup>21</sup>、国立病院機構金沢医療センター消化器科<sup>22</sup>、滋賀医科大学消化器内科<sup>23</sup>、京都府立医科大学消化器内科<sup>24</sup>、関西医科大学消化器肝臓内科<sup>25</sup>、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学<sup>26</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門<sup>27</sup>、京都大学消化器内科<sup>28</sup>、松山赤十字病院胃腸センター<sup>29</sup>、大分赤十字病院消化器内科<sup>30</sup>、自治医科大学附属さいたま医療センター消化器科<sup>31</sup>、浦添総合病院消化器内科<sup>32</sup>、琉球大学光学医療診療部<sup>33</sup>、広島大学内視鏡診療科<sup>34</sup>、防衛医科大学消化器内科<sup>35</sup>、香川県立中央病院消化器内科<sup>36</sup>、諏訪赤十字病院腫瘍内科<sup>37</sup>、金沢大学消化器内科炎症性腸疾患センター<sup>38</sup>、国立病院機構東近江総合医療センター消化器内科<sup>39</sup>、聖マリアンナ医科大学消化器内科<sup>40</sup>、慶應義塾大学医学部消化器内科<sup>41</sup>、大船中央病院消化器 IBD センター<sup>42</sup> )

b ) 司会 久松 理一 杏林大学医学部第三内科 ( 13 : 35 ~ 13 : 55 )

### Diamond2 試験参加施設多施設共同医師主導型臨床研究「アダリムマブと免疫調節剤併用中の寛解クローン病患者における免疫調節剤休薬の検討-Diamond2」

久松理一<sup>1</sup>、松本主之<sup>2</sup>、仲瀬裕志<sup>3</sup>、渡辺憲治<sup>4</sup>、渡辺 守<sup>5</sup>、日比紀文<sup>6</sup> ( 杏林大学医学部第三内科<sup>1</sup>、岩手医科大学消化管内科学<sup>2</sup>、札幌医科大学医学部消化器内科学講座<sup>3</sup>、大阪市立総合医療センター消化器内科<sup>4</sup>、東京医科歯科大学消化器病態学<sup>5</sup>、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター<sup>6</sup> )

## DIAMOND studyの経過報告

松本主之<sup>1</sup>、本谷 聡<sup>2</sup>、渡辺憲治<sup>3</sup>、久松理一<sup>4</sup>、仲瀬裕志<sup>5</sup>、吉村直樹<sup>6</sup>、石田哲也<sup>7</sup>、加藤真吾<sup>8</sup>、長堀正和<sup>9</sup>、松井敏幸<sup>10</sup>、内藤裕二<sup>11</sup>、金井隆典<sup>12</sup>、鈴木康夫<sup>13</sup>、野島正寛<sup>14</sup>、渡辺 守<sup>9</sup>、日比紀文<sup>15</sup>(岩手医科大学<sup>1</sup>、札幌厚生病院 IBD センター<sup>2</sup>、大阪市立総合医療センター<sup>3</sup>、杏林大学<sup>4</sup>、札幌医科大学<sup>5</sup>、東京山手メディカルセンター<sup>6</sup>、大分赤十字病院<sup>7</sup>、埼玉医療センター<sup>8</sup>、東京医科歯科大学<sup>9</sup>、福岡大学筑紫病院<sup>10</sup>、京都府立医科大学<sup>11</sup>、慶應義塾大学<sup>12</sup>、東邦大学佐倉病院<sup>13</sup>、東京大学医科学研究所<sup>14</sup>、北里大学研究所病院<sup>15</sup>)

## インフリキシマブによる寛解維持治療における効果不十分なクローン病患者を対象とした栄養療法併用効果確認試験 (CERISIER Trial)

久松理一<sup>1</sup>、中村志郎<sup>2</sup>、長堀正和<sup>3</sup>、横山 薫<sup>4</sup>、国崎玲子<sup>5</sup>、辻川知之<sup>6</sup>、仲瀬裕志<sup>7</sup>、渡辺憲治<sup>8</sup>、渡辺 守<sup>3</sup>、日比紀文<sup>9</sup>、Cheriser 試験参加施設 (杏林大学医学部第三内科<sup>1</sup>、兵庫医科大学内科学下部消化管科<sup>2</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>3</sup>、北里大学医学部消化器内科<sup>4</sup>、公立大学法人横浜市立大学学術院附属市民総合センター IBD センター<sup>5</sup>、国立病院機構滋賀病院<sup>6</sup>、札幌医科大学医学部消化器内科学講座<sup>7</sup>、大阪市立総合医療センター消化器内科<sup>8</sup>、東京医科歯科大学大学院消化器病態学<sup>9</sup>、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター<sup>10</sup>)

## c) 司会 中野 雅 北里大学北里研究所病院 消化器内科 (13:55~14:10)

## IFX治療によって寛解維持された潰瘍性大腸炎患者に対するIFXの中止および継続群の寛解維持率比較研究～HAYABUSA study進捗状況報告～

小林 拓<sup>1</sup>、久松理一<sup>2</sup>、松本主之<sup>3</sup>、本谷 聡<sup>4</sup>、仲瀬裕志<sup>5</sup>、渡辺憲治<sup>6</sup>、平井郁仁<sup>7</sup>、田中正則<sup>8</sup>、渡辺守<sup>9</sup>、日比紀文<sup>1</sup>(北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター<sup>1</sup>、杏林大学医学部第三内科学<sup>2</sup>、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科・消化管分野<sup>3</sup>、JA北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター<sup>4</sup>、札幌医科大学医学部消化器内科学講座<sup>5</sup>、大阪市立総合医療センター消化器内科<sup>6</sup>、福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>7</sup>、弘前市立病院臨床検査科<sup>8</sup>、東京医科歯科大学消化器病態学<sup>9</sup>)

## カプセル化された青蘆の潰瘍性大腸炎に対する無作為化二重盲検比較試験 (多施設共同研究)

金井隆典<sup>1</sup>、長沼 誠<sup>1</sup>、杉本真也<sup>1</sup>、水野慎大<sup>1</sup>、南木康作<sup>1</sup>、内藤裕二<sup>2</sup>、内山和彦<sup>2</sup>、安藤 朗<sup>3</sup>、馬場重樹<sup>3</sup>、光山慶一<sup>4</sup>、山崎博<sup>4</sup>、金城福則<sup>5</sup>、渡辺憲治<sup>6</sup>、石黒 陽<sup>7</sup>、田中信治<sup>8</sup>、上野義隆<sup>8</sup>、穂苅量太<sup>9</sup>、渡辺知佳子<sup>9</sup>、佐々木 誠<sup>10</sup>、北村和哉<sup>11</sup>、花井洋行<sup>12</sup>、池谷賢太郎<sup>12</sup>、新井勝大<sup>13</sup>、清水泰岳<sup>13</sup>、北野厚生<sup>14</sup>、松本主之<sup>15</sup>、梁井俊一<sup>15</sup>、吉田 優<sup>16</sup>、星 奈美子<sup>16</sup>、仲瀬裕志<sup>17</sup>、山本隆行<sup>18</sup>、大井秀久<sup>19</sup>、鮫島洋一<sup>19</sup>、稲津東彦<sup>20</sup>、芦塚伸也<sup>20</sup>、吉村直樹<sup>21</sup>、渡辺 修<sup>22</sup>、松岡克善<sup>23</sup>、渡辺 守<sup>23</sup>、上野伸展<sup>24</sup>、藤谷幹弘<sup>24</sup>、日比紀文<sup>25</sup>、小林 拓<sup>25</sup>、平井郁仁<sup>26</sup>、三枝慶一郎<sup>27</sup>、中澤 敦<sup>27</sup>、諸星雄一<sup>28</sup>、市川仁志<sup>29</sup>、久松理一<sup>30</sup>、中村志郎<sup>31</sup>、櫻庭裕丈<sup>32</sup>、猿田雅之<sup>33</sup>、山本章二郎<sup>34</sup>、竹内 健<sup>35</sup>、鈴木康夫<sup>35</sup>(慶應義塾大学医学部・消化器内科<sup>1</sup>、京都府立医科大学大学院・消化器内科学<sup>2</sup>、滋賀医科大学医学部・消化器内科<sup>3</sup>、久留米大学医学部・消化器内科<sup>4</sup>、浦添総合病院・消化器病センター<sup>5</sup>、大阪市立総合医療センター・消化器内科<sup>6</sup>、国立病院機構弘前病院・臨床研究部<sup>7</sup>、広島大学病院・内視鏡診療科・IBD センター<sup>8</sup>、防衛医科大学校・内科学第二<sup>9</sup>、愛知医科大学・消化管内科<sup>10</sup>、金沢大学附属病院・消化器内科<sup>11</sup>、浜松南病院・消化器病・IBD センター<sup>12</sup>、国立成育医療研究センター・消化器科<sup>13</sup>、若草第一病院・消化器内科<sup>14</sup>、岩手医科大学・消化器内科<sup>15</sup>、神戸大学大学院医学研究科・消化器内科学分野<sup>16</sup>、札幌医科大学・消化器内科学講座<sup>17</sup>、四日市羽津医療センター・消化器科<sup>18</sup>、今村病院・消化器内科<sup>19</sup>、宮崎大学・第一内科<sup>20</sup>、東京山手メディカルセンター・炎症性腸疾患内科<sup>21</sup>、名古屋大学大学院・消化器内科<sup>22</sup>、東京医科歯科大学・消化器内科<sup>23</sup>、旭川医科大学・内科学講座<sup>24</sup>、北里大学北里研究所病院・炎症性腸疾患先進治療センター<sup>25</sup>、福岡大学筑紫病院・消化器科<sup>26</sup>、済生会中央病院・消化器内科<sup>27</sup>、横浜市立市民病院・消化器内科<sup>28</sup>、東海大学医学部付属八王子病院・消化器内科<sup>29</sup>、杏林大学医学部付属病院・第三内科<sup>30</sup>、兵庫医科大学・炎症性腸疾患学講座内科部門<sup>31</sup>、弘前大学大学院医学研究科・消化器血液内科学講座<sup>32</sup>、東京慈恵会医科大学・消化器・肝臓内科<sup>33</sup>、宮崎大学・第二内科<sup>34</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院・消化器内科<sup>35</sup>)

## 7. 的確な診断・治療の確立プロジェクト 診断面から (14:10~14:35)

### 総括 緒方晴彦 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター

## 潰瘍性大腸炎関連腫瘍の診断におけるプローブ型共焦点レーザー内視鏡の有用性

大宮直木<sup>1</sup>、長坂光夫<sup>1</sup>(藤田保健衛生大学消化管内科学<sup>1</sup>)

## 潰瘍性大腸炎に対する大腸カプセル内視鏡の有用性とアトラス作成の試み（進捗報告）

緒方晴彦<sup>1</sup>、細江直樹<sup>1</sup>、長沼誠<sup>2</sup>、金井隆典<sup>2</sup>、松岡克善<sup>3</sup>、荒木昭博<sup>3</sup>、渡辺守<sup>3</sup>、小林拓<sup>4</sup>、中野雅<sup>4</sup>、日比紀文<sup>4</sup>、吉田篤史<sup>5</sup>、遠藤豊<sup>5</sup>、上野文昭<sup>5</sup>、竹内健<sup>6</sup>、鈴木康夫<sup>6</sup>（慶應義塾大学医学部内視鏡センター<sup>1</sup>、慶應義塾大学消化器内科<sup>2</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>3</sup>、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター<sup>4</sup>、大船中央病院消化器肝臓病センター<sup>5</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科<sup>6</sup>）

## クローン病粘膜病変に対するバルーン小腸内視鏡とMREの比較試験 Progress Study:国内多施設共同試験

渡辺憲治<sup>1</sup>、渡部公彦<sup>2</sup>、細見周平<sup>2</sup>、湯川知洋<sup>2</sup>、鎌田紀子<sup>2</sup>、山上博一<sup>2</sup>、竹内健<sup>3</sup>、石川ルミ子<sup>4</sup>、鈴木康夫<sup>3</sup>、矢野智則<sup>5</sup>、山本博徳<sup>5</sup>、長沼誠<sup>6</sup>、金井隆典<sup>6</sup>、奥田茂男<sup>7</sup>、日比紀文<sup>8</sup>、大塚和朗<sup>9</sup>、北詰良雄<sup>10</sup>、渡辺守<sup>9</sup>、別府剛志<sup>11</sup>、平井郁仁<sup>11</sup>、松井敏幸<sup>11</sup>、櫻庭裕丈<sup>12</sup>、石黒陽<sup>13</sup>、加藤真吾<sup>14</sup>、馬場重樹<sup>15</sup>、安藤朗<sup>15</sup>、穂苅量太<sup>16</sup>、内山和彦<sup>17</sup>、高木智久<sup>17</sup>、内藤裕二<sup>17</sup>、桑木光太郎<sup>18</sup>、光山慶一<sup>18</sup>、長坂光夫<sup>19</sup>、大宮直木<sup>19</sup>、前本篤男<sup>20</sup>、吉田篤史<sup>21</sup>、遠藤豊<sup>21</sup>、上野文昭<sup>21</sup>、村上義孝<sup>22</sup>（大阪市立総合医療センター消化器内科<sup>1</sup>、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学<sup>2</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科<sup>3</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院放射線科<sup>4</sup>、自治医科大学消化器内科<sup>5</sup>、慶應義塾大学医学部消化器内科<sup>6</sup>、慶應義塾大学医学部放射線診断科<sup>7</sup>、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター<sup>8</sup>、東京医科歯科大学消化器病態学<sup>9</sup>、東京医科歯科大学放射線科<sup>10</sup>、福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>11</sup>、弘前大学医学部消化器血液内科学講座<sup>12</sup>、国立病院機構弘前病院臨床研究部<sup>13</sup>、埼玉医科大学総合医療センター消化器肝臓内科<sup>14</sup>、滋賀医科大学消化器内科<sup>15</sup>、防衛医科大学校消化器内科<sup>16</sup>、京都府立医科大学消化器内科<sup>17</sup>、久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門炎症性腸疾患センター<sup>18</sup>、藤田保健衛生大学消化器内科<sup>19</sup>、札幌東徳洲会病院IBDセンター<sup>20</sup>、大船中央病院消化器IBDセンター<sup>21</sup>、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野<sup>22</sup>）

## 8. 癌サーベイランス法の確立（14：35～15：10）

総括 渡邊聡明 東京大学大学院医学系研究科 腫瘍外科・血管外科

### 潰瘍性大腸炎に対する癌サーベイランス法の確立

渡邊聡明<sup>1</sup>、畑啓介<sup>1</sup>、味岡洋一<sup>2</sup>、武林亨<sup>3</sup>、友次直輝<sup>4</sup>、井上永介<sup>5</sup>、安藤朗<sup>6</sup>、池内浩基<sup>7</sup>、岡崎和一<sup>8</sup>、緒方晴彦<sup>9</sup>、金井隆典<sup>10</sup>、杉田昭<sup>11</sup>、仲瀬裕志<sup>12</sup>、中野雅<sup>13</sup>、長堀正和<sup>14</sup>、中村志郎<sup>15</sup>、西脇祐司<sup>16</sup>、福島浩平<sup>17</sup>、穂苅量太<sup>18</sup>、松井敏幸<sup>19</sup>、松本主之<sup>20</sup>、渡辺守<sup>21</sup>、日比紀文<sup>22</sup>、鈴木康夫<sup>23</sup>（東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科<sup>1</sup>、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野<sup>2</sup>、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学<sup>3</sup>、慶應義塾大学クリニカルリサーチセンター<sup>4</sup>、北里大学薬学部臨床統計<sup>5</sup>、滋賀医科大学内科学講座消化器内科<sup>6</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座<sup>7</sup>、関西医科大学内科学第三講座（消化器肝臓内科）<sup>8</sup>、慶應義塾大学医学部内視鏡センター<sup>9</sup>、慶應義塾大学医学部消化器内科<sup>10</sup>、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>11</sup>、札幌医科大学医学部消化器内科学講座<sup>12</sup>、北里大学北里研究所病院内視鏡センター<sup>13</sup>、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科<sup>14</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科学部門<sup>15</sup>、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野<sup>16</sup>、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野<sup>17</sup>、防衛医科大学校消化器内科<sup>18</sup>、福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>19</sup>、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野<sup>20</sup>、東京医科歯科大学消化器病態学<sup>21</sup>、北里大学炎症性腸疾患先進治療センター<sup>22</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院（内科学講座）<sup>23</sup>）

### 潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡におけるNBIと色素内視鏡の比較試験 Navigator Study：国内共同前向きランダム化比較試験

渡辺憲治<sup>1</sup>、佐野弘治<sup>1</sup>、末包剛久<sup>1</sup>、猿田雅之<sup>2</sup>、斎藤彰一<sup>3</sup>、田尻久雄<sup>2</sup>、西山宗希<sup>4</sup>、岡志郎<sup>4</sup>、田中信治<sup>4</sup>、味岡洋一<sup>5</sup>、嶋本文雄<sup>6</sup>、竹内健<sup>7</sup>、鈴木康夫<sup>7</sup>、大宮直木<sup>8</sup>、藤井茂彦<sup>9</sup>、柿本一城<sup>10</sup>、岡田俊彦<sup>10</sup>、井上拓也<sup>10</sup>、細見周平<sup>11</sup>、湯川知洋<sup>11</sup>、鎌田紀子<sup>11</sup>、山上博一<sup>11</sup>、西下正和<sup>12</sup>、福知工<sup>13</sup>、櫻井俊治<sup>14</sup>、櫻田博史<sup>14</sup>、樋田信幸<sup>15</sup>、平井郁仁<sup>16</sup>、松井敏幸<sup>16</sup>、前島裕司<sup>17</sup>、岡本康治<sup>17</sup>、江崎幹宏<sup>17</sup>、後藤英世<sup>18</sup>、野崎良一<sup>18</sup>、川野伶緒<sup>19</sup>（大阪市立総合医療センター消化器内科<sup>1</sup>、東京慈恵会医科大学消化器内科<sup>2</sup>、東京慈恵会医科大学内視鏡科<sup>3</sup>、広島大学内視鏡診療科<sup>4</sup>、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子病態病理学<sup>5</sup>、県立広島大学人間文化学部健康科学科病態病理学<sup>6</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科<sup>7</sup>、藤田保健衛生大学消化器内科<sup>8</sup>、京都桂病院消化器内科<sup>9</sup>、大阪医科大学第二内科<sup>10</sup>、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学<sup>11</sup>、正啓会西下胃腸病院<sup>12</sup>、済生会中津病院消化器内科<sup>13</sup>、近畿大学消化器内科<sup>14</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科学部門<sup>15</sup>、福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>16</sup>、九州大学病態機能内科学<sup>17</sup>、高野会高野病院消化器内科<sup>18</sup>、山口大学医学部附属病院臨床研究センター<sup>19</sup>）

## 外科手術症例からみた潰瘍性大腸炎癌合併例における臨床病理学的検討

渡邊聡明<sup>1</sup>、畑 啓介<sup>1</sup>、杉田 昭<sup>2</sup>、池内浩基<sup>3</sup>、福島浩平<sup>4</sup>、二見喜太郎<sup>5</sup>、楠 正人<sup>6</sup>、藤井久男<sup>7</sup>、水島恒和<sup>8</sup>、板橋道朗<sup>9</sup>、木村英明<sup>10</sup>、安藤 朗<sup>11</sup>、岡崎和一<sup>12</sup>、緒方晴彦<sup>13</sup>、金井隆典<sup>14</sup>、仲瀬裕志<sup>15</sup>、中野 雅<sup>16</sup>、長堀正和<sup>17</sup>、中村志郎<sup>18</sup>、西脇祐司<sup>19</sup>、穂刈量太<sup>20</sup>、松井敏幸<sup>21</sup>、松本主之<sup>22</sup>、鈴木康夫<sup>23</sup> (東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科<sup>1</sup>、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>2</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座<sup>3</sup>、東北大学大学院医学系研究科消化管再建医工学分野<sup>4</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>5</sup>、三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻臨床医学系講座消化管・小児外科学<sup>6</sup>、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部<sup>7</sup>、大阪大学大学院医学系研究科臨床腫瘍免疫学寄付講座<sup>8</sup>、東京女子医科大学第二外科<sup>9</sup>、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患( IBD )センター<sup>10</sup>、滋賀医科大学内科学講座消化器内科<sup>11</sup>、関西医科大学内科学第三講座( 消化器肝臓内科 )<sup>12</sup>、慶應義塾大学医学部内視鏡センター<sup>13</sup>、慶應義塾大学医学部消化器内科<sup>14</sup>、札幌医科大学医学部消化器内科学講座<sup>15</sup>、北里大学北里研究所病院内視鏡センター<sup>16</sup>、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科<sup>17</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門<sup>18</sup>、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野<sup>19</sup>、防衛医科大学校消化器内科<sup>20</sup>、福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>21</sup>、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野<sup>22</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院( 内科学講座 )<sup>23</sup>)

## Crohn 病に合併した大腸癌の surveillance program 確立の検討( 痔瘻癌を含む )( 第 8 報 ) - 作成 surveillance program 実施状況について -

杉田 昭<sup>1</sup>、小金井一隆<sup>1</sup>、二見喜太郎<sup>2</sup>、舟山裕士<sup>3</sup>、池内浩基<sup>4</sup>、根津理一郎<sup>5</sup>、板橋道朗<sup>6</sup>、水島恒和<sup>7</sup>、荒木俊光<sup>8</sup>、渡邊聡明<sup>9</sup>、福島浩平<sup>10</sup>、佐々木 巖<sup>11</sup> (横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>1</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>2</sup>、仙台赤十字病院外科<sup>3</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座<sup>4</sup>、西宮市立中央病院外科<sup>5</sup>、東京女子医大第 2 外科<sup>6</sup>、大阪大学消化器外科<sup>7</sup>、三重大学消化管 小児外科学<sup>8</sup>、東京大学大腸肛門外科<sup>9</sup>、東北大学分子病態外科<sup>10</sup>、みやぎ健診プラザ<sup>11</sup>)

## 9. 外科系プロジェクト ( 15 : 10 ~ 16 : 10 )

### 総括 杉田 昭 横浜市立市民病院 炎症性腸疾患センター

#### a ) 司会 杉田 昭 横浜市立市民病院 炎症性腸疾患センター ( 15 : 10 ~ 15 : 35 )

### 外科系臨床研究ワーキンググループ プロジェクト研究の現状と方針

杉田 昭<sup>1</sup>、二見喜太郎<sup>2</sup>、根津理一郎<sup>3</sup>、藤井久男<sup>4</sup>、楠 正人<sup>5</sup>、舟山裕士<sup>6</sup>、渡邊聡明<sup>7</sup>、福島浩平<sup>8</sup>、板橋道朗<sup>9</sup>、池内浩基<sup>10</sup>、小金井一隆<sup>11</sup>、亀山仁史<sup>12</sup>、亀岡信悟<sup>13</sup>、佐々木 巖<sup>14</sup> (横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>1</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>2</sup>、西宮市立中央病院外科<sup>3</sup>、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター<sup>4</sup>、三重大学消化管・小児外科学<sup>5</sup>、仙台赤十字病院外科<sup>6</sup>、東京大学大腸肛門外科<sup>7</sup>、東北大学分子病態外科<sup>8</sup>、東京女子医大第 2 外科<sup>9</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座<sup>10</sup>、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>11</sup>、新潟大学消化器・一般外科<sup>12</sup>、牛久愛和総合病院<sup>13</sup>、みやぎ健診プラザ<sup>14</sup>)

### Crohn 病手術例の再発危険因子の検討 prospective study の protocol 作成

杉田 昭<sup>1</sup>、小金井一隆<sup>1</sup>、二見喜太郎<sup>2</sup>、根津理一郎<sup>3</sup>、藤井久男<sup>4</sup>、楠 正人<sup>5</sup>、舟山裕士<sup>6</sup>、渡邊聡明<sup>7</sup>、福島浩平<sup>8</sup>、板橋道朗<sup>9</sup>、池内浩基<sup>10</sup>、亀山仁史<sup>11</sup>、亀岡信悟<sup>12</sup>、佐々木 巖<sup>13</sup> (横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>1</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>2</sup>、西宮市立中央病院外科<sup>3</sup>、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター<sup>4</sup>、三重大学消化管・小児外科学<sup>5</sup>、仙台赤十字病院外科<sup>6</sup>、東京大学大腸肛門外科<sup>7</sup>、東北大学分子病態外科<sup>8</sup>、東京女子医大第 2 外科<sup>9</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座<sup>10</sup>、新潟大学消化器、一般外科<sup>11</sup>、牛久愛和総合病院<sup>12</sup>、みやぎ健診プラザ<sup>13</sup>)

### 小児潰瘍性大腸炎症例の外科治療 手術適応、術式、長期予後 最終報告

池内浩基<sup>1</sup>、内野 基<sup>1</sup>、福島浩平<sup>2</sup>、杉田 昭<sup>3</sup>、渡邊聡明<sup>4</sup>、舟山祐士<sup>5</sup>、高橋賢一<sup>6</sup>、亀岡信悟<sup>7</sup>、板橋道朗<sup>7</sup>、畑 啓介<sup>4</sup>、小金井一隆<sup>3</sup>、木村英明<sup>8</sup>、楠 正人<sup>9</sup>、荒木俊光<sup>9</sup>、亀山仁史<sup>10</sup>、藤井久男<sup>11</sup>、吉岡和彦<sup>12</sup>、根津理一郎<sup>13</sup>、水島恒和<sup>14</sup>、二見喜太郎<sup>15</sup>、東 大二郎<sup>15</sup>、佐々木 巖<sup>16</sup>、余田 篤<sup>17</sup>、田尻 仁<sup>18</sup> (兵庫医科大学炎症性腸疾患外科<sup>1</sup>、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野<sup>2</sup>、横浜市立市民病院外科<sup>3</sup>、東京大学腫瘍外科<sup>4</sup>、仙台赤十字病院外科<sup>5</sup>、東北労災病院大腸肛門外科<sup>6</sup>、東京女子医科大学第二外科<sup>7</sup>、横浜市立大学総合医療センター<sup>8</sup>、三重大学消化管・小児外科<sup>9</sup>、新潟大学消化器外科<sup>10</sup>、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部<sup>11</sup>、関西医科大学付属滝井病院外科<sup>12</sup>、西宮市立中央病院外科<sup>13</sup>、大阪大学消化器外科<sup>14</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>15</sup>、宮城健診プラザ<sup>16</sup>、大阪医科大学小児科<sup>17</sup>、大阪府立急性期・総合医療センター小児科<sup>18</sup>)

## **b) 司会 池内浩基 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座外科部門 (15:35~15:50)**

### **潰瘍性大腸炎術後の Pouch 機能の検討 術後早期機能率、長期機能率、Pouch failure の要因と治療**

池内浩基<sup>1</sup>、内野 基<sup>1</sup>、福島浩平<sup>2</sup>、杉田 昭<sup>3</sup>、渡邊聡明<sup>4</sup>、舟山祐士<sup>5</sup>、高橋賢一<sup>6</sup>、亀岡信悟<sup>7</sup>、板橋道朗<sup>7</sup>、畑 啓介<sup>4</sup>、小金井一隆<sup>3</sup>、楠 正人<sup>8</sup>、荒木俊光<sup>8</sup>、亀山仁史<sup>9</sup>、藤井久男<sup>10</sup>、吉岡和彦<sup>11</sup>、根津理一郎<sup>12</sup>、水島恒和<sup>13</sup>、二見喜太郎<sup>14</sup>、東 大二郎<sup>14</sup>、佐々木 巖<sup>15</sup>、(兵庫医科大学炎症性腸疾患外科<sup>1</sup>、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野<sup>2</sup>、横浜市立市民病院外科<sup>3</sup>、東京大学腫瘍外科<sup>4</sup>、仙台赤十字病院外科<sup>5</sup>、東北労災病院大腸肛門外科<sup>6</sup>、東京女子医科大学第二外科<sup>7</sup>、三重大学消化管・小児外科<sup>8</sup>、新潟大学消化器外科<sup>9</sup>、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部<sup>10</sup>、関西医科大学附属滝井病院外科<sup>11</sup>、西宮市立中央病院外科<sup>12</sup>、大阪大学消化器外科<sup>13</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>14</sup>、宮城健診プラザ<sup>15</sup>)

### **潰瘍性大腸炎術後の小腸病変調査の臨床へのフィードバック (潰瘍性大腸炎外科治療指針への記載に向けて)**

福島浩平<sup>1</sup>、池内浩基<sup>2</sup>、鈴木康夫<sup>3</sup>、渡辺和宏<sup>4</sup>、神山篤史<sup>4</sup>、長尾宗紀<sup>4</sup>、高橋賢一<sup>5</sup>、羽根田 祥<sup>5</sup>、杉田 昭<sup>6</sup>、二見喜太郎<sup>7</sup>、藤井久男<sup>8</sup>、吉岡和彦<sup>9</sup>、板橋道朗<sup>10</sup>、渡邊聡明<sup>11</sup>、楠 正人<sup>12</sup>、橋本拓造<sup>10</sup>、辰巳健志<sup>5</sup>、内野 基<sup>2</sup>、河口貴昭<sup>13</sup>、高津典孝<sup>14</sup>、石黒 陽<sup>15</sup>、仲瀬裕志<sup>16</sup>、大宮美香<sup>17</sup>、平井郁仁<sup>14</sup>、池田圭祐<sup>18</sup>、山田哲弘<sup>2</sup>、松岡克善<sup>19</sup>、長沼 誠<sup>19</sup>、福地 工<sup>20</sup>、長堀正和<sup>21</sup>、国崎玲子<sup>22</sup> (東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野<sup>1</sup>、兵庫医科大学 IBD センター外科<sup>2</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院内科<sup>3</sup>、東北大学大学院生体調節外科学分野<sup>4</sup>、東北労災病院大腸肛門外科<sup>5</sup>、横浜市民病院外科<sup>6</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>7</sup>、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部<sup>8</sup>、関西医科大学附属枚方病院外科<sup>9</sup>、東京女子医科大学第二外科<sup>10</sup>、帝京大学消化器外科<sup>11</sup>、三重大学消化管・小児外科学<sup>12</sup>、社会保険中央病院内科<sup>13</sup>、福岡大学消化器内科筑紫病院消化器内科<sup>14</sup>、弘前大学光学医療診療部<sup>15</sup>、京都大学消化器内科<sup>16</sup>、関西医科大学香里病院消化器内科<sup>17</sup>、福岡大学筑紫病院病理<sup>18</sup>、慶應義塾大学医学部消化器内科<sup>19</sup>、大阪済生会中津病院消化器内科<sup>20</sup>、東京医科歯科大学消化器病態学<sup>21</sup>、横浜市立大学消化器内科<sup>22</sup>)

## **c) 司会 福島浩平 東北大学大学院 医工学研究科/消化管再建医工学分野 (15:50~16:10)**

### **班研究の効率化と一般病院における IBD 外科診療の均てん化を目的とした共通データフォーマットの作成**

福島浩平<sup>1</sup>、渡辺和宏<sup>2</sup>、板橋道朗<sup>3</sup>、二見喜太郎<sup>4</sup>、杉田 昭<sup>5</sup>、池内浩基<sup>6</sup>、渡邊聡明<sup>7</sup>、藤井久男<sup>8</sup>、楠 正人<sup>9</sup>、水島恒和<sup>10</sup>、高橋賢一<sup>11</sup>、羽根田 祥<sup>11</sup>、長尾宗紀<sup>2</sup>、神山篤史<sup>12</sup>、舟山裕士<sup>13</sup> (東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野<sup>1</sup>、東北大学大学院生体調節外科学分野<sup>2</sup>、東京女子医科大学第二外科<sup>3</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>4</sup>、横浜市民病院外科<sup>5</sup>、兵庫医科大学 IBD センター外科<sup>6</sup>、東京大学腫瘍外科<sup>7</sup>、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部<sup>8</sup>、三重大学消化管・小児外科学<sup>9</sup>、大阪大学消化器外科<sup>10</sup>、東北労災病院大腸肛門外科<sup>11</sup>、石巻赤十字病院外科<sup>12</sup>、仙台赤十字病院外科<sup>13</sup>)

### **クローン病術後吻合部潰瘍に関する調査研究**

小山文一<sup>1</sup>、植田 剛<sup>2</sup>、藤井久男<sup>3</sup>、杉田 昭<sup>4</sup>、池内浩基<sup>5</sup>、福島浩平<sup>6</sup>、渡邊聡明<sup>7</sup>、荒木俊光<sup>8</sup>、板橋道明<sup>9</sup>、内野 基<sup>5</sup>、亀岡信悟<sup>9</sup>、亀山仁史<sup>10</sup>、楠 正人<sup>8</sup>、小金井一隆<sup>4</sup>、高橋賢一<sup>11</sup>、根津理一郎<sup>12</sup>、東 大二郎<sup>13</sup>、二見喜太郎<sup>13</sup>、舟山裕士<sup>14</sup>、水島恒和<sup>15</sup> (奈良県立医科大学附属病院中央内視鏡・超音波部<sup>1</sup>、奈良県立医科大学消化器・総合外科<sup>2</sup>、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター<sup>3</sup>、横浜市民病院炎症性腸疾患センター<sup>4</sup>、兵庫医科大学 IBD センター外科<sup>5</sup>、東北大学大学院消化器再建医工学・分子病態外科学分野<sup>6</sup>、東京大学大腸肛門外科<sup>7</sup>、三重大学消化器外科<sup>8</sup>、東京女子医科大学第二外科<sup>9</sup>、新潟大学消化器外科<sup>10</sup>、東北労災病院大腸肛門外科<sup>11</sup>、西宮市立中央病院外科<sup>12</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>13</sup>、仙台赤十字病院外科<sup>14</sup>、大阪大学消化器外科<sup>15</sup>)

### **クローン病再手術率の時代的変遷**

渡邊聡明<sup>1</sup>、畑 啓介<sup>1</sup>、杉田 昭<sup>2</sup>、池内浩基<sup>3</sup>、福島浩平<sup>4</sup>、二見喜太郎<sup>5</sup>、楠 正人<sup>6</sup>、藤井久男<sup>7</sup>、水島恒和<sup>8</sup>、板橋道朗<sup>9</sup>、木村英明<sup>10</sup>、安藤 朗<sup>11</sup>、岡崎和一<sup>12</sup>、緒方晴彦<sup>13</sup>、金井隆典<sup>14</sup>、仲瀬裕志<sup>15</sup>、中野 雅<sup>16</sup>、長堀正和<sup>17</sup>、中村志郎<sup>18</sup>、西脇祐司<sup>19</sup>、穂刈量太<sup>20</sup>、松井敏幸<sup>21</sup>、松本主之<sup>22</sup>、鈴木康夫<sup>23</sup> (東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科<sup>1</sup>、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>2</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座<sup>3</sup>、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野<sup>4</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>5</sup>、三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻臨床医学系講座消化管・小児外科学<sup>6</sup>、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部<sup>7</sup>、大阪大学大学院医学系研究科臨床腫瘍免疫学寄付講座<sup>8</sup>、東京女子医科大学第二外科<sup>9</sup>、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患 (IBD) センター<sup>10</sup>、滋賀医科大学内科学講座消化器内科<sup>11</sup>、関西医科大学内科学第三講座 (消化器肝臓内科)<sup>12</sup>、慶應義塾大学医学部内視鏡センター<sup>13</sup>、慶應義塾大学医学部消化器内科<sup>14</sup>、札幌医科大学医学部消化器内科学講座<sup>15</sup>、北里大学北里研究所病院内視鏡センター<sup>16</sup>、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科<sup>17</sup>、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門<sup>18</sup>、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野<sup>19</sup>、防衛医科大学校消化器内

科<sup>20</sup>、福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>21</sup>、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野<sup>22</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院（内科学講座）<sup>23</sup>）

## 10. 合併症/副作用への対策プロジェクト（16：10～16：35）

総括 仲瀬裕志 札幌医科大学 消化器内科学講座

### mucosal PCR 法をマーカーとした CMV 感染合併潰瘍性大腸炎の治療適正化

仲瀬裕志<sup>1</sup>、松浦 稔<sup>2</sup>、小野寺 馨<sup>1</sup>、鈴木康夫<sup>3</sup>、竹内 健<sup>3</sup>、山田哲弘<sup>3</sup>、長沼 誠<sup>4</sup>、松岡克善<sup>5</sup>、藤井俊光<sup>5</sup>、福井寿朗<sup>6</sup>、高津典孝<sup>7</sup>（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座<sup>1</sup>、京都大学医学部附属病院 消化器内科・内視鏡部<sup>2</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科<sup>3</sup>、慶應義塾大学医学部 消化器内科<sup>4</sup>、東京医科歯科大学 消化器病態学<sup>5</sup>、関西医科大学内科学 第三講座<sup>6</sup>、田川市立病院 消化器内科<sup>7</sup>）

### 炎症性腸疾患における骨代謝障害に関する多施設共同研究の提案

仲瀬裕志<sup>1</sup>、松浦 稔<sup>2</sup>、小野寺 馨<sup>1</sup>、鈴木康夫<sup>3</sup>、竹内 健<sup>3</sup>、山田哲弘<sup>3</sup>、長沼 誠<sup>4</sup>、松岡克善<sup>5</sup>、藤井俊光<sup>5</sup>、福井寿朗<sup>6</sup>、高津典孝<sup>7</sup>（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座<sup>1</sup>、京都大学医学部附属病院 消化器内科・内視鏡部<sup>2</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科<sup>3</sup>、慶應義塾大学医学部 消化器内科<sup>4</sup>、東京医科歯科大学 消化器病態学<sup>5</sup>、関西医科大学内科学 第三講座<sup>6</sup>、田川市立病院 消化器内科<sup>7</sup>）

### 炎症性腸疾患における血栓症発症の頻度および危険因子に関する多施設共同研究

藤谷幹浩<sup>1</sup>、安藤勝祥<sup>2</sup>、稲場勇平<sup>3</sup>、野村好紀<sup>1</sup>、上野伸展<sup>1</sup>、盛一健太郎<sup>1</sup>、前本篤男<sup>4</sup>、蘆田知史<sup>5</sup>、田邊裕貴<sup>2</sup>、高後 裕<sup>2</sup>、仲瀬裕志<sup>6</sup>、山田 聡<sup>7</sup>（旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野<sup>1</sup>、国際医療福祉大学病院消化器内科<sup>2</sup>、市立旭川病院消化器病センター<sup>3</sup>、札幌東徳州会病院 IBD センター<sup>4</sup>、札幌徳州会病院 IBD センター<sup>5</sup>、札幌医科大学消化器・免疫・リウマチ内科学講座<sup>6</sup>、京都大学消化器内科<sup>7</sup>）

## 11. 炎症性腸疾患患者の特殊型への対策プロジェクト（16：35～17：10）

総括 穂苅量太 防衛医科大学校 消化器内科

### 高齢者中等症潰瘍性大腸炎におけるステロイド vs 血球成分除去療法の前向き観察型比較試験

穂苅量太<sup>1</sup>、高本俊介<sup>1</sup>、東山正明<sup>1</sup>、渡辺知佳子<sup>1</sup>、三浦総一郎<sup>1</sup>、本谷 聡<sup>2</sup>、加藤真吾<sup>3</sup>、横山陽子<sup>4</sup>、中村志郎<sup>5</sup>、飯塚正弘<sup>6</sup>（防衛医科大学校 消化器内科<sup>1</sup>、札幌厚生病院 IBD センター<sup>2</sup>、埼玉医科大学総合医療センター 消化器内科<sup>3</sup>、北里大学東病院 消化器内科<sup>4</sup>、兵庫医科大学 内科学下部消化管科<sup>5</sup>、秋田赤十字病院 消化器内科<sup>6</sup>）

### 妊娠出産の転帰と治療内容に関する多施設共同研究

穂苅量太<sup>1</sup>、渡辺知佳子<sup>1</sup>、高本俊介<sup>1</sup>、三浦総一郎<sup>1</sup>、本谷 聡<sup>2</sup>、松本主之<sup>3</sup>、梁井俊一<sup>3</sup>、松岡克善<sup>4</sup>、長堀正和<sup>4</sup>、渡辺 守<sup>4</sup>、長沼 誠<sup>5</sup>、金井隆典<sup>5</sup>、小林 拓<sup>6</sup>、日比紀文<sup>6</sup>、米沢麻利亜<sup>7</sup>、飯塚文瑛<sup>7</sup>、吉村直樹<sup>8</sup>、杉田 昭<sup>9</sup>、小金井一隆<sup>9</sup>、国崎玲子<sup>10</sup>、小林清典<sup>11</sup>、横山 薫<sup>11</sup>、中村志郎<sup>12</sup>、安藤 朗<sup>13</sup>、渡辺憲治<sup>14</sup>、山上博一<sup>14</sup>、北村和哉<sup>15</sup>、加賀谷尚史<sup>16</sup>、石原俊治<sup>17</sup>、山岡莉乃<sup>18</sup>、松井敏幸<sup>18</sup>（防衛医科大学校内科<sup>1</sup>、札幌厚生病院 IBD センター<sup>2</sup>、岩手医科大学 内科学講座 消化器内科消化管分野<sup>3</sup>、東京医科歯科大学 消化器内科<sup>4</sup>、慶應義塾大学医学部 消化器内科<sup>5</sup>、北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター<sup>6</sup>、東京女子医科大学 IBD センター（消化器内科）<sup>7</sup>、東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患センター<sup>8</sup>、横浜市民病院 炎症性腸疾患センター<sup>9</sup>、横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター<sup>10</sup>、北里大学病院 消化器内科<sup>11</sup>、兵庫医科大学 内科学下部消化管科<sup>12</sup>、滋賀医科大学 消化器内科<sup>13</sup>、大阪市立大学病院 消化器内科<sup>14</sup>、金沢大学附属病院 消化器内科<sup>15</sup>、金沢医療センター 消化器内科<sup>16</sup>、島根医科大学 消化器内科<sup>17</sup>、福岡大学筑紫病院 消化器内科<sup>18</sup>）

### 小児期発症炎症性腸疾患の治療に関する全国調査

清水俊明<sup>1</sup>、大塚宜一<sup>1</sup>、友政 剛<sup>2</sup>、田尻 仁<sup>3</sup>、国崎玲子<sup>4</sup>、石毛 崇<sup>5</sup>、山田寛之<sup>6</sup>、新井勝大<sup>7</sup>、余田 篤<sup>8</sup>、牛島高介<sup>9</sup>、青松友槻<sup>8</sup>、永田 智<sup>10</sup>、内田恵一<sup>11</sup>、竹内一夫<sup>12</sup>、穂苅量太<sup>13</sup>、三浦聡一郎<sup>13</sup>、渡辺 守<sup>14</sup>、鈴木康夫<sup>15</sup>（順天堂大学医学部小児科<sup>1</sup>、パルこどもクリニック<sup>2</sup>、大阪府立急性期・総合医療センター小児医療センター<sup>3</sup>、横浜市立大学附属市民総合医療センター<sup>4</sup>、群馬大学大学院医学系研究科小児科学<sup>5</sup>、大阪府立母子センター消化器内分泌科<sup>6</sup>、国立成育医療研究センター消化器科<sup>7</sup>、大阪医科大学泌尿生殖発達医学講座小児科<sup>8</sup>、久留米大学医療センター小児科<sup>9</sup>、東京女子医科大学小児科<sup>10</sup>、三重大学医学部小児外科<sup>11</sup>、埼玉大学教育学部学校保健学講座<sup>12</sup>、防衛医科大学校内科<sup>13</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>14</sup>、東邦大学医療センター佐倉病

院消化器内科<sup>15)</sup>

**本邦の小児炎症性腸疾患患者の特徴と欧米との比較：前方視的レジストリ研究**

新井勝大<sup>1</sup>、国崎玲子<sup>2</sup>、角田文彦<sup>3</sup>、萩原真一郎<sup>4</sup>、村越孝次<sup>5</sup>、柳忠弘<sup>6</sup>、清水俊明<sup>7</sup>、中山佳子<sup>8</sup>、石毛崇<sup>9</sup>、青松友槻<sup>10</sup>、井上幹大<sup>11</sup>、齋藤 武<sup>12</sup>、岩間 達<sup>13</sup>、川島尚志<sup>14</sup>、熊谷秀規<sup>15</sup>、田尻 仁<sup>16</sup>、岩田直美<sup>17</sup>、望月貴博<sup>18</sup>、野口篤子<sup>19</sup>、柏原俊彦<sup>20</sup>、清水泰岳<sup>1</sup>、平野友梨<sup>1</sup>、藤原武男<sup>21</sup>（国立成育医療研究センター消化器科<sup>1</sup>、横浜市立大学市民総合医療センターIBDセンター<sup>2</sup>、宮城県立こども病院総合診療科<sup>3</sup>、埼玉県立小児医療センター総合診療科<sup>4</sup>、東京都立小児総合医療センター消化器科<sup>5</sup>、久留米大学小児科<sup>6</sup>、順天堂大学小児科<sup>7</sup>、信州大学小児科<sup>8</sup>、群馬大学小児科<sup>9</sup>、大阪医科大学小児科<sup>10</sup>、三重大学消化管・小児外科<sup>11</sup>、千葉大学小児外科<sup>12</sup>、沖縄県立中部病院小児科<sup>13</sup>、東京医科大学小児科<sup>14</sup>、自治医科大学小児科<sup>15</sup>、大阪府立急性期・総合医療センター小児科<sup>16</sup>、あいち小児保健医療総合センター感染免疫科<sup>17</sup>、大阪警察病院小児科<sup>18</sup>、秋田大学小児科<sup>19</sup>、山形県立中央病院消化器内科<sup>20</sup>、東京医科歯科大学国際健康推進医学分野<sup>21</sup>）

（17：10 終了予定）

**事務局連絡**

懇親会（17：20～）

・ 研究報告 (続)

## 12. 新たな診断基準案作成 (9:00~9:20)

総括 松井敏幸 福岡大学筑紫病院 消化器内科

### 潰瘍性大腸炎の診断基準改訂、「重症度の定義」の改訂

久部高司<sup>1</sup>、松井敏幸<sup>1</sup>、平井郁仁<sup>1</sup>、松本主之<sup>2</sup>、樋渡信夫<sup>3</sup>、平田一郎<sup>4</sup>、花井洋行<sup>5</sup>、小林清典<sup>6</sup>、田中信治<sup>7</sup>、押谷伸英<sup>8</sup>、蘆田知史<sup>9</sup>、井上 詠<sup>10</sup>、杉田 昭<sup>11</sup>、渡邊聡明<sup>12</sup>、藤井久男<sup>13</sup>、岩下明徳<sup>14</sup>、味岡洋一<sup>15</sup>、田中正則<sup>16</sup>、鈴木康夫<sup>17</sup> (福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>1</sup>、岩手医科大学消化管内科学<sup>2</sup>、広瀬病院<sup>3</sup>、谷向病院消化器内科<sup>4</sup>、浜松南病院消化器病・IBD センター<sup>5</sup>、北里大学病院消化器内科<sup>6</sup>、広島大学病院内視鏡診療科<sup>7</sup>、愛染橋病院内科<sup>8</sup>、札幌徳洲会病院 IBD センター<sup>9</sup>、慶應義塾大学消化器内科<sup>10</sup>、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター<sup>11</sup>、東京大学腫瘍外科・血管外科<sup>12</sup>、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部<sup>13</sup>、福岡大学筑紫病院病理部<sup>14</sup>、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野<sup>15</sup>、弘前市立病院臨床検査科<sup>16</sup>、東邦大学佐倉病院内科学講座<sup>17</sup>)

### カプセル内視鏡所見に基づいたクローン病診断基準の確立-検証試験の進捗状況-

江崎幹宏<sup>1</sup>、松本主之<sup>2</sup>、鈴木康夫<sup>3</sup> (九州大学・病態機能内科学<sup>1</sup>、岩手医科大学・内科学講座消化器内科消化管分野<sup>2</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院・内科学講座<sup>3</sup>)

## 13. 腸内細菌プロジェクト (9:20~9:55)

総括 安藤 朗 滋賀医科大学 消化器内科

### 難治性腸疾患に対する健常人糞便移植の安全性および有効性の検討 (進捗報告)

金井隆典<sup>1</sup>、水野慎大<sup>1</sup>、南木康作<sup>1</sup>、松岡克善<sup>2</sup>、清原裕貴<sup>1</sup>、新井万里<sup>1</sup>、大野恵子<sup>1</sup>、牟田口 真<sup>1</sup>、杉本真也<sup>1</sup>、中里圭宏<sup>3</sup>、長沼 誠<sup>1</sup>、緒方晴彦<sup>3</sup> (慶應義塾大学医学部・消化器内科<sup>1</sup>、東京医科歯科大学・消化器内科<sup>2</sup>、慶應義塾大学医学部・内視鏡センター<sup>3</sup>)

### 当院における潰瘍性大腸炎に対する糞便移植の検討

安藤 朗<sup>1</sup>、西田淳史<sup>1</sup>、今枝広丞<sup>1</sup>、馬場重樹<sup>1</sup>、杉本光繁<sup>3</sup>、(滋賀医科大学消化器内科<sup>1</sup>、滋賀医科大学光学診療部<sup>3</sup>)

### 当院における軽症~中等症潰瘍性大腸炎患者を対象とした腸内細菌叢移植の現状

對田 尚<sup>1</sup>、中川倫夫<sup>1</sup>、勝野達郎<sup>2</sup>、太田佑樹<sup>1</sup>、濱中紳策<sup>1</sup>、新井誠人<sup>1</sup>、露口利人<sup>1</sup> (千葉大学医学部附属病院消化器内科<sup>1</sup>、千葉大学柏の葉診療所東洋医学センター<sup>2</sup>)

### 潰瘍性大腸炎患者に対する抗菌薬併用糞便移植療法の有効性について (進捗状況)

長田太郎<sup>1</sup>、石川 大<sup>1</sup>、澁谷智義<sup>1</sup>、芳賀慶一<sup>1</sup>、野村 収<sup>1</sup>、高橋正倫<sup>1</sup>、渡辺純夫<sup>1</sup> (順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科<sup>1</sup>)

## 14. 的確な診断・治療の確立プロジェクト バイオマーカー (9:55~10:20)

総括 金井隆典 慶應義塾大学医学部 消化器内科

### 潰瘍性大腸炎患者における血清バイオマーカー、便中カルプロテクチン、便潜血反応と中長期予後との関連の検討 (進捗状況)

金井隆典<sup>1</sup>、長沼 誠<sup>1</sup>、佐々木誠人<sup>2</sup>、岡庭紀子<sup>2</sup>、城 卓志<sup>3</sup>、尾関啓司<sup>3</sup>、光山慶一<sup>4</sup>、内藤祐二<sup>5</sup>、山本博徳<sup>6</sup>、坂本博次<sup>6</sup>、小林 拓<sup>7</sup>、日比紀文<sup>7</sup>、藤谷幹浩<sup>8</sup>、加藤真吾<sup>9</sup>、長田太郎<sup>10</sup>、花井 洋<sup>11</sup>、本谷 聡<sup>12</sup>、那須野正尚<sup>12</sup>、飯島英樹<sup>13</sup>、渡辺憲治<sup>14</sup>、横山純二<sup>15</sup>、飯塚文瑛<sup>16</sup>、大森鉄平<sup>16</sup>、松岡克善<sup>17</sup>、渡辺 守<sup>17</sup>、遠藤 豊<sup>18</sup>、市川仁志<sup>19</sup>、穂苅量大<sup>20</sup>、渡辺知佳子<sup>20</sup>、竹内義明<sup>21</sup>、猿田雅之<sup>22</sup>、横山薫<sup>23</sup>、山上博一<sup>24</sup>、竹内 健<sup>25</sup>、鈴木康夫<sup>25</sup> (慶應義塾大学医学部・消化器内科<sup>1</sup>、愛知医科大学・消化管内科<sup>2</sup>、名古屋市立大学・消化器・代謝内科学<sup>3</sup>、久留米大学・炎症性腸疾患センター<sup>4</sup>、京都府立医科大学・消化器内科<sup>5</sup>、自治医科大学・消化器内科<sup>6</sup>、北里大学北里研究所病院・炎症性腸疾患先進治療センター<sup>7</sup>、旭川医科大学・第三内科<sup>8</sup>、埼玉医科大学総合医療センター・消化器・肝臓内科<sup>9</sup>、順天堂大学・消化器内科<sup>10</sup>、浜松みなみ病院・炎症性腸疾患センター<sup>11</sup>、札幌厚生病院・IBD センター<sup>12</sup>、大阪大学 消化器内科<sup>13</sup>、大阪市立総合医療センター消化器内科<sup>14</sup>、新潟大学・消化器内科<sup>15</sup>、東京女子医科大学・消化器内科<sup>16</sup>、東京医科歯科大学医学部消化器内科<sup>17</sup>、大船中央

病院・消化器内科<sup>18</sup>、東海大学八王子センター・消化器内科<sup>19</sup>、防衛医科大学・第二内科<sup>20</sup>、昭和大学・消化器内科<sup>21</sup>、慈恵医科大学・消化器・肝臓内科<sup>22</sup>、北里大学・消化器内科<sup>23</sup>、大阪市立大学 消化器内科<sup>24</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科<sup>25</sup>)

#### 炎症性腸疾患病態における MEFV 遺伝子変異の意義

仲瀬裕志<sup>1</sup>、本澤有介<sup>2</sup>、小野寺 馨<sup>1</sup>、本谷 聡<sup>3</sup>、田中浩紀<sup>3</sup>、松浦 稔<sup>2</sup>、豊永貴彦<sup>4</sup>、小林 拓<sup>4</sup>、久松理一<sup>5</sup>、国崎玲子<sup>6</sup>、江崎幹宏<sup>7</sup>、竹内 健<sup>8</sup>、石黒 陽<sup>9</sup>、松本主之<sup>10</sup>、鈴木康夫<sup>8</sup>、日比紀文<sup>4</sup>(札幌医科大学 消化器内科学講座<sup>1</sup>、京都大学医学部附属病院 消化器内科・内視鏡部<sup>2</sup>、札幌厚生病院 IBD センター<sup>3</sup>、北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター<sup>4</sup>、杏林大学医学部 第三内科学<sup>5</sup>、横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター<sup>6</sup>、九州大学病院 消化器内科<sup>7</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科<sup>8</sup>、国立病院機構 弘前病院 消化器・血液内科<sup>9</sup>、岩手医科大学 消化器内科消化管分野<sup>10</sup>)

#### 「炎症性腸疾患患者におけるチオプリン関連副作用と NUDT15 遺伝子多型との相関性に関する多施設共同研究(MENDEL Study)」

角田洋一<sup>1</sup>、木内喜孝<sup>2</sup>、内藤健夫<sup>1</sup>、佐々木誠人<sup>3</sup>、岡庭 紀子<sup>3</sup>、小林 拓<sup>4</sup>、西田淳史<sup>5</sup>、花井洋行<sup>6</sup>、飯田貴之<sup>6</sup>、久松理一<sup>7</sup>、石黒 陽<sup>8</sup>、中村志郎<sup>9</sup>、高川哲也<sup>9</sup>、長沼 誠<sup>10</sup>、梁井 俊一<sup>11</sup>、平岡佐規子<sup>12</sup>、穂苅量太<sup>13</sup>、遠藤克哉<sup>1</sup>、安藤 朗<sup>5</sup>、鈴木康夫<sup>14</sup>、下瀬川徹<sup>1</sup>(東北大学病院 消化器内科<sup>1</sup>、東北大学高度教養教育・学生支援機構 臨床医学開発室<sup>2</sup>、愛知医科大学消化器内科<sup>3</sup>、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター<sup>4</sup>、滋賀医科大学 消化器内科<sup>5</sup>、浜松南病院 IBD センター<sup>6</sup>、杏林大学医学部第三内科学<sup>7</sup>、国立病院機構弘前病院 消化器・血液内科<sup>8</sup>、兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座 内科部門<sup>9</sup>、慶應義塾大学 消化器内科<sup>10</sup>、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野<sup>11</sup>、岡山大学病院 消化器内科<sup>12</sup>、防衛医科大学校 消化器内科<sup>13</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座<sup>14</sup>)

閉会挨拶 (10:20 予定)

事務局連絡